

令和元年度 真鶴町 学力調査 結果の分析から

子どもたちに育てたい「学びの姿」について

真鶴町教育委員会

真鶴町では町の子どもたちの学習の理解度や学習に対する意識、生活習慣等（総じて「学力」）を把握し、子どもたちへの教育指導の在り方や学習状況の改善等に役立てることを目的として、全国学力・学習状況調査の結果の分析を実施しております。

そこで、今年度も真鶴町教育委員会では、まなづる小学校・真鶴中学校とともに検証委員会を設置し、標記調査を中心に真鶴町の子どもたちの学習状況について分析をしました。今回はその分析から子どもたちに育てたい「学びの姿」をまとめ、保護者の皆様にお伝えいたします。

まなづるっ子に求める、学びの姿

- すすんで「書いて」伝えようとする姿
- 本や新聞など、自ら活字に親しむ姿

令和元年度学力調査の分析から見えた、

真鶴町の子どもたちの特徴的な良さと課題について

今年度の特徴的な良さ（真鶴の子どもたちのストロングポイント）

各教科 ・ 意識 調査 から	<p>(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・「数と計算」の内容について、これまでに学習したことを活用して、新たな問題を解決することができます。・棒グラフから資料の特徴や傾向を読みとることができます。・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦しています。
----------------------------	---

(中学校)

- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解することができています。
- ・反例の意味を理解することができています。
- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができています。
- ・自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表しています。

(小・中学校共通)

- ・先生が子どもたちのよいところを認めています。*
- ・自分で計画を立てて家庭学習をおこなっています。*
- ・町のことを外国の人にもっと知ってもらいたいと考えています。

※ 経年で同様の結果が見られます。

今年度の特徴的な課題！（真鶴の子どもたちに求められる改善点）

<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる（書く）こと。 <small>（特に小学校における課題です）</small> ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くこと。 <small>（特に小学校における課題です）</small> ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。 <small>（特に中学校における課題です）</small>
<p>算数 ・ 数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の数量から必要な数量を選び、立式すること。 <small>（特に小学校における課題です）</small> ・場面の状況から求め方と答えを記述し、その結果から判断すること。 <small>（特に小学校における課題です）</small> ・資料の傾向を捉え、判断の理由を説明すること。 <small>（特に中学校における課題です）</small> ・簡単な場合について確率を求めること。 <small>（特に中学校における課題です）</small>
<p>英語 (中)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと。
<p>意識 調査 より</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から新聞を読むこと。 ・家の人と学校での出来事について話をすること。

選択式の問題よりも、記述式の問題について正答率の低さが目立ちました。「書くこと」も含め、自分の考えをもち、それを表現し合えることが求められます。

対象となる学力調査（令和元年4月実施）

	全国学力・学習状況調査
小学校	6年生
中学校	3年生

☆学力向上に向けた各学校での取組☆

分析結果を受け、各校で次のような取組を考え実施します。



小・中学校でつなげる

共通の取組

○子どもたちが主体的に学ぶ授業にするため、校内研究の充実を図ります。

(小学校での取組)

- ・児童一人一人がいきいきと学び合うために、「自分の考えをもつ」⇒「ノートに書く」⇒「自分の考えをもったうえで話し合いに参加する」といった展開を基本にした授業をめざした『授業研究』を行います。

(中学校での取組)

- ・分析結果を校内研究のテーマ設定に生かし、生徒の「資質・能力」を伸ばすことをめざした『授業研究』を行います。
※「校内研究」…学校の教職員が、各自の授業力の向上や、学校全体で行う教育活動の改善を目的に、相互で実践を提案・分析し合う研究会のこと
※「開かれた校内研究」をめざすため、先生方の学びを積極的に発信します。

○「書いて表現したくなる」子どもたちを育みます。

(小学校での取組)

- ・発達の段階に合わせて、「文の書き方」をしっかりと指導します。
- ・自分の思いや考えを書く機会を増やします。
- ・児童の「書く力」を伸ばすため、授業の中に効果的な「書く活動」を取り入れられるよう、教科ごとの『授業ベースプラン』を作成します。
- ・様々な文章にふれさせて、表現の工夫やよさを感じさせます。

(中学校での取組)

- ・「書くこと」のよさを実感させ習慣化を図るために、メモを活用する場面を増やします。
- ・段落の構成や、文の種類の違い（具体と抽象・意見と根拠）などを意識した文章を書かせ、生徒の表現力を高めます。

○子どもたちの「読書活動」を充実させます。(家庭との協力)

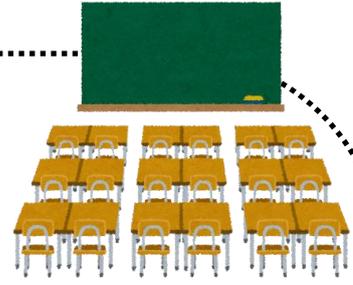
(小学校での取組)

- ・読書タイムを活用して、「読書の日常化」を図り、長文を読むことに慣れる場を設定します。
- ・読書したことが励みになるような取組（読書貯読等）や読書に興味をもてるような取組（読み聞かせシャッフル・ペア読書等）を行います。

(中学校での取組)

- ・朝読書（MT）の時間をさらに充実させるため、生徒が自分の興味に合った本に出会えるような書籍の紹介や環境の整備を行います。

各学校の独自の取組



まなづる小学校

○「漢字」を使う子どもたちを育てます。

- ・まずは「ことばを知る」ために、辞書を活用したり、工夫された表現（ことわざや慣用句等）にふれさせたりして、語彙を増やすことをめざします。
- ・漢字を繰り返し書く学習だけでなく、文の中で漢字が使えるように「短文づくり」も取り入れます。

○計算力だけでなく、「なぜその式になったのか」を大切にします。

- ・「なぜ、〇〇算なのか」をみんなが納得し、しっかり説明し合えるように、根拠にこだわった指導を行います。

真鶴中学校

○知識だけでなく、「概念」が分かる生徒を育てます。

- ・「なぜそうなるのか」「この活動が何につながっていくのか」を追究する生徒を大切にしたい授業をめざします。

○生徒が学び合う授業をめざします。

- ・まずは「教え合うこと」から理解を深め、相互に考えや意見を伝え合う「学び合い」の授業へとつなげていきます。

○自ら英語を学ぼうとする生徒を育てます。

- ・生徒自身が、到達すべき目標を自覚できるように見通しをもたせ、自らの成長を実感し、励みとできるような指導を計画的に行います。

～子どもたちの「学ぶ力」を育てるために、
学校と家庭が協力して取り組みたいこと～

～特に大切にしてほしいこと！～

- ☆ 子どもたちと対話する時間を多くもちましょう。その日の出来事、学校で学んだこと、将来の夢について等、子どもたちの思いを受け止め、共に過ごす時間をつくり、対話をしてください。
- ☆ 家庭学習の習慣化に力を入れましょう。先生や保護者、子どもたちとよく相談をして、できることからステップアップして進めていきましょう。
※「家庭学習がんばり週間（小学校）」や「マナログ（中学校）」など、子どもたちが自分の力で家庭学習を行えることをめざした取組は続きます。
- 本に親しむ環境（時間・場）をつくりましょう。本の読み聞かせや、家族で共に読書をするなど、本をとおしてコミュニケーションを図ってください。
- 結果よりも、子どもたちが努力していること頑張っていることの過程を大いに褒めましょう。
- 各家庭に配布した「みんなで守ろう 携帯・スマホ・ゲーム機等のきまり」を使って、ゲーム、スマートフォン等の使い方や使う時間などのルールについて、さらにスマートフォン等についてはフィルタリングの措置について、保護者と子どもとで相談しましょう。

※ ☆印は「重点項目」

○さらに以下のことにも取り組んでいきましょう。

～心身共に健康的な生活習慣を身に付ける～

- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけ、子どもたちの生活リズムを整えましょう。
- ・ 読書の時間（「読み聞かせ」を含む）をつくりましょう。
- ・ 体を動かして遊ぶ、スポーツに親しむことができるような機会をつくり、子どもたちに運動する楽しさを味わわせましょう。
- ・ あいさつを気持ちよくできるよう、大人から進んであいさつをしましょう。

～自尊心（自分を大切に思う心）を高める～

- ・ 子どもの「その子らしさ」を認めていきましょう。
- ・ 子どもたち自身が「自分で頑張れること」について考える機会をつくりましょう。
- ・ 子どもとの共有体験（共に過ごす、活動する）の機会を多くもちましょう。
（一緒にいる安心感が子どもの心を育みます）

～規範意識（きまりやマナーを守ろうとする心）を育てる～

- ・ きまりや約束を守ろうとする子どもの姿を認め、大いに褒めましょう。
- ・ 人と人のつながりが感じられる体験を増やし、子どもたちが感じたことを受け止めましょう。